

アフターサービスについて

保証書

- 別に添付しています保証書の「お買い上げ日」「販売先名」欄の記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

保証期間中に修理を依頼される場合

- この製品の保証期間は、保証書をご確認ください。
- 修理を依頼されるときは、お求めの販売先または、下記フリーダイヤルへご連絡ください。
(なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。)

△注意 ※つぎの場合には有料修理となりますのでご注意ください。

1. 「取扱説明書」の記載内容以外の使い方による故障。
2. 一般水道水以外の水を使用された場合の故障および損傷。
3. 地震、火災、水害など天災による故障および損傷。
4. お買い上げ後の落下、交通事故などによる輸送中の損傷。
5. 消耗品の交換。
6. 寿命による電極板の交換。
7. 保証書に、お買い上げ年月日、お客様名、販売先名の記入がない場合。
または、字句を書き換えられた場合。
8. 保証書のご提示がない場合。

保証期間後に修理を依頼される場合

- お求めの販売先または、下記フリーダイヤルへご連絡ください。ご要望によって有料にて修理いたします。

その他

- 製品について、ご不明な点がございましたら、お求めの販売先または、下記フリーダイヤルへお問い合わせください。

△警告

- 自身での本機の改造・分解・修理は絶対にしないでください。火災、感電の原因となります。
その結果生じた事故については、一切責任を負いかねます。

※ご不明な点は、お求めの販売先または下記フリーダイヤルへお問い合わせください。

発売元 株式会社エナジック



医学 日本成人病予防協会認定品

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目1番6号 越前屋ビル7F
TEL.03-5205-6030 FAX.03-5205-6035

フリーダイヤル **0120-84-4132**

販売先

保管用

- 必ずお読みください。
- 正しくご使用ください。
- 必ず保管してください。

SD シリーズ

LIFE SCIENCE WATER APPARATUS

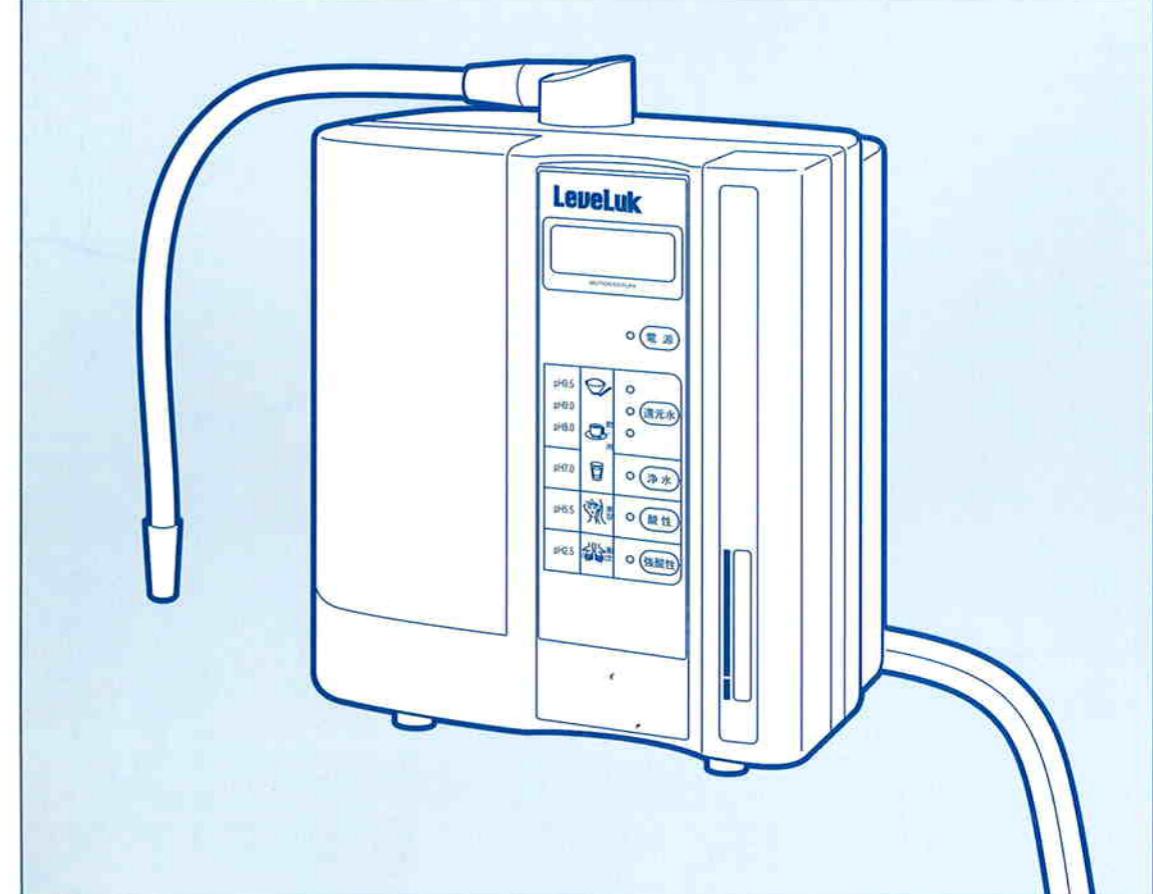
LeveLuk SD⁵⁰¹ TYH-401

LeveLuk DX II TYH-302

LeveLuk Jr II TYH-201

還元水・強酸性水連続生成器

取扱説明書



このたびは〈LeveLuk SD⁵⁰¹〉〈LeveLuk DX II〉〈LeveLuk Jr II〉をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この製品の機能を生かして上手にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、大切に保管してください。

目 次

■はじめに	2
■強酸性水・酸性水・還元水の使用上のご注意	3
■特長	4
■付属品	5
■各部の名称	6~7
■操作パネル	8
・液晶ディスプレイ文字表示および音声ガイダンス一覧	9
■1 準備	10
・シャワー付分岐栓の取り付け方法	11
・本体の取り付け方法	12
・電気配線について	13
■2 ご使用方法(基本操作)	14
・操作音量の変更について	15
・還元水のつくり方	16~17
・酸性水のつくり方	18
・強酸性水・強還元水のつくり方	19~21
・浄水のつくり方	22
・クリーニングについて	23
■3 浄水フィルターの交換方法	24~25
■4 安全に関するご注意	26~27
■5 困った時は	28~29
・洗浄フィルターによる洗浄をおこなう	29
■6 オプションについて	30
■7 標準仕様	31
■アフターサービスについて	卷末

■はじめに

●本書中のマークについて

本書では、いくつかのマークを用いて、重要な事項を記載しています。

それぞれのマークについては、下記に説明いたしますが特に次の警告・注意マークがついている文章は、必ずお読みください。

危険度の目安



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、最悪の場合、人命にかかる可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

●表示マークの説明

マーク	タイトル	意味
!	一般	特定しない一般的な注意、警告、危険の通告に用いる。
🚫	一般	特定しない一般的な禁止の通告に用いる。
!	一般	特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示に用いる。
🚫	火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品が発火する可能性がある場合の禁止の通告に用いる。
🚫	風呂、シャワーなどの水場での使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して、漏電によって傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告に用いる。
🚫	分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告に用いる。
⚠️	電源プラグをコンセントから抜く	故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示する表示に用いる。

※ここに示した注意事項は「△警告」「△注意」に区分していますが、誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいものを、特に「△警告」の欄にまとめて掲載しています。

しかし、「△注意」の欄に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれの場合も安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

※正しい設置をされていても、正しく使用されなかった場合の製品の故障、事故については当社は責任を負いませんのでご了承ください。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

■強酸性水・酸性水・還元水の使用上の注意

△警告 安全のために必ずお守りください。

- 次の方は強酸性水、酸性水を使用する前に医師または薬剤師に相談してください。
 - 肌の弱い方 ■アレルギー体质の方

- 強酸性水、酸性水を使用して肌に異常を感じたときは、速やかに使用を中止して医師に相談してください。

- 生成した還元水を飲用する場合、次のことに注意してください。
 - 医薬品を生成水で飲用しないでください。

- じん（腎）不全、カリウム排せつ（泄）障害などの（腎）疾患の人は、飲用しないでください。
 - 飲用して身体に異常を感じたとき、または飲用し続けても症状に改善が見られない時は、飲用を中止し、医師または薬剤師に相談してください。

- 医師の治療を受けている人、特にじん（腎）臓に障害がある人および、身体に異常を感じている人は、飲用前に医師または薬剤師に相談してください。

- ミルクや、乳児用食品に還元水を使用しないでください。

△注意

- 次のような水は飲まないでください。体調を損なうことがあります。
 - 強酸性水 ■pH（ペーハー）測定液の入った水
 - 酸性水 ■強酸性水生成時の強還元水 ■吐水ホースから排出される水
 - クリーニング中の水

- 還元水を飲用に用いるときは、pH9.5までを適值とし、pH10以上は飲用に適さないので直接飲用しないでください。また、測定は定期的におこなってください。

- 還元水の飲用量は、1日当たり500～1,000mL程度を、適量として使用ください。

- 生成水は、生成後速やかにご使用ください。

- 金魚や熱帯魚など、魚類の飼育水として使用しないでください。環境が変わり死ぬことがあります。

- 酸に弱い銅製容器や、アルカリに弱いアルミ容器は使用しないでください。容器が破損することがあります。

- 強酸性水を容器に入れて保存される場合、ガラス容器・ポリ容器・陶器等耐蝕性に優れた容器を使用してください。金属容器は強酸性水により腐食するため使用しないでください。

- 強酸性水を保存する場合は必ず密閉し、光の入らない容器に保存し、1週間以内に使用してください。

- 強酸性水（酸性水）で金属製の包丁やスプーン等を洗浄した場合、水気を十分拭きとり、乾燥させてください。濡れたまま放置しますと、サビの原因となります。

- 還元水を保存する場合は、必ず密閉した容器で冷蔵庫に入れ、3日以内に使用してください。

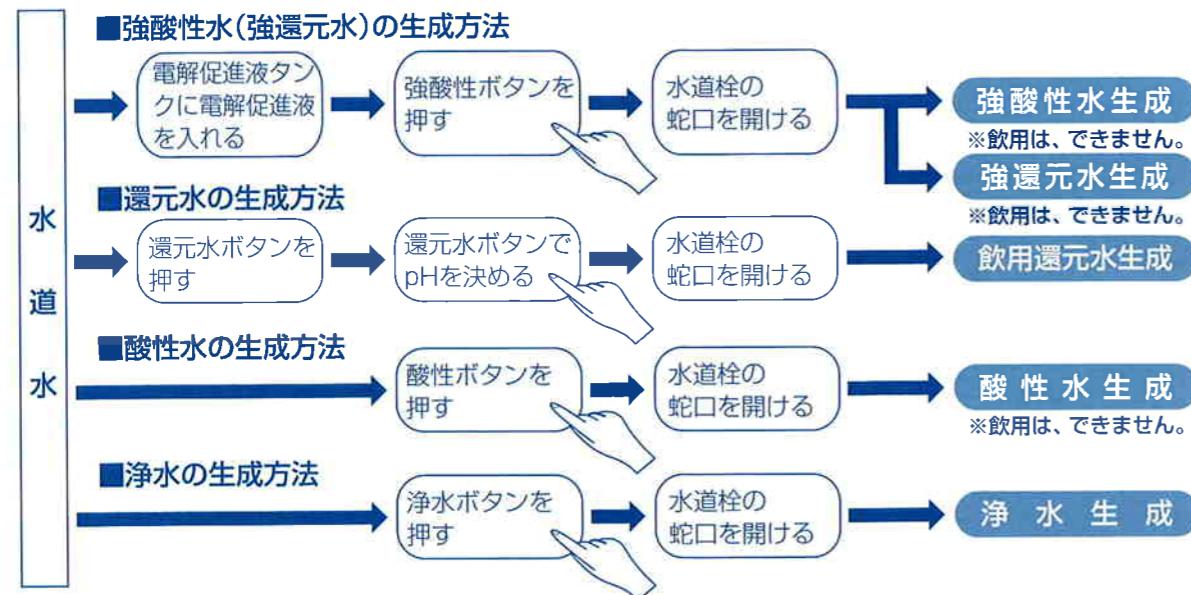
- 毎日、使い始めの水は、10秒以上水を流してから使用してください。

- 数日間以上使わなかったときは、30秒以上水を流してから使用してください。

- 消耗品、および使用しなくなった機器の廃棄は、地域で定められた条例に従って実施してください。

■特長

●ワンタッチ操作で **強酸性水**・**強還元水**・**還元水**・**酸性水**・**浄水** の5種類の生成水をつくることができます。用途に応じてお使い分けください。



■用途に合わせて5種類、7段階の生成水をご利用になれます。

生成水	pH濃度	用 途	注意
還元水	pH9.5	麦茶などに 麦茶や、ウーロン茶などをつくる場合に最適です。	
	pH9.0	日本茶・炊飯などに お茶はまろやか、ごはんもつや良くふっくらと炊き上がります。 おいしく健康的な毎日の食事に最適です。	
	pH8.0	健康によい水 還元水を初めてお飲みになる方は、身体が慣れるまでこのpH値が適しています。	医薬品を飲むときは、 使用できません。 浄水モードで ご使用ください。
浄 水	pH7.0	薬の服用時や、赤ちゃんのミルク溶きに 中性の水です。日常飲むのはもちろん、特に医薬品を飲む場合などご利用ください。	
酸 性	pH6.0	お肌のお手入れに 洗顔、入浴などにご使用ください。	
強酸性	pH2.5	手指・台所用品などの洗浄に 包丁やまな板など台所用品の洗浄、湯飲みの茶シブ落としなどの食器洗いご利用ください。	※飲用は、できません。
強還元水	pH10.0～	洗浄用水 タンパク質、脂質の汚れを落とします。	

(各種生成方法は、ご使用方法P.14～をご参照ください。)

!**警告**



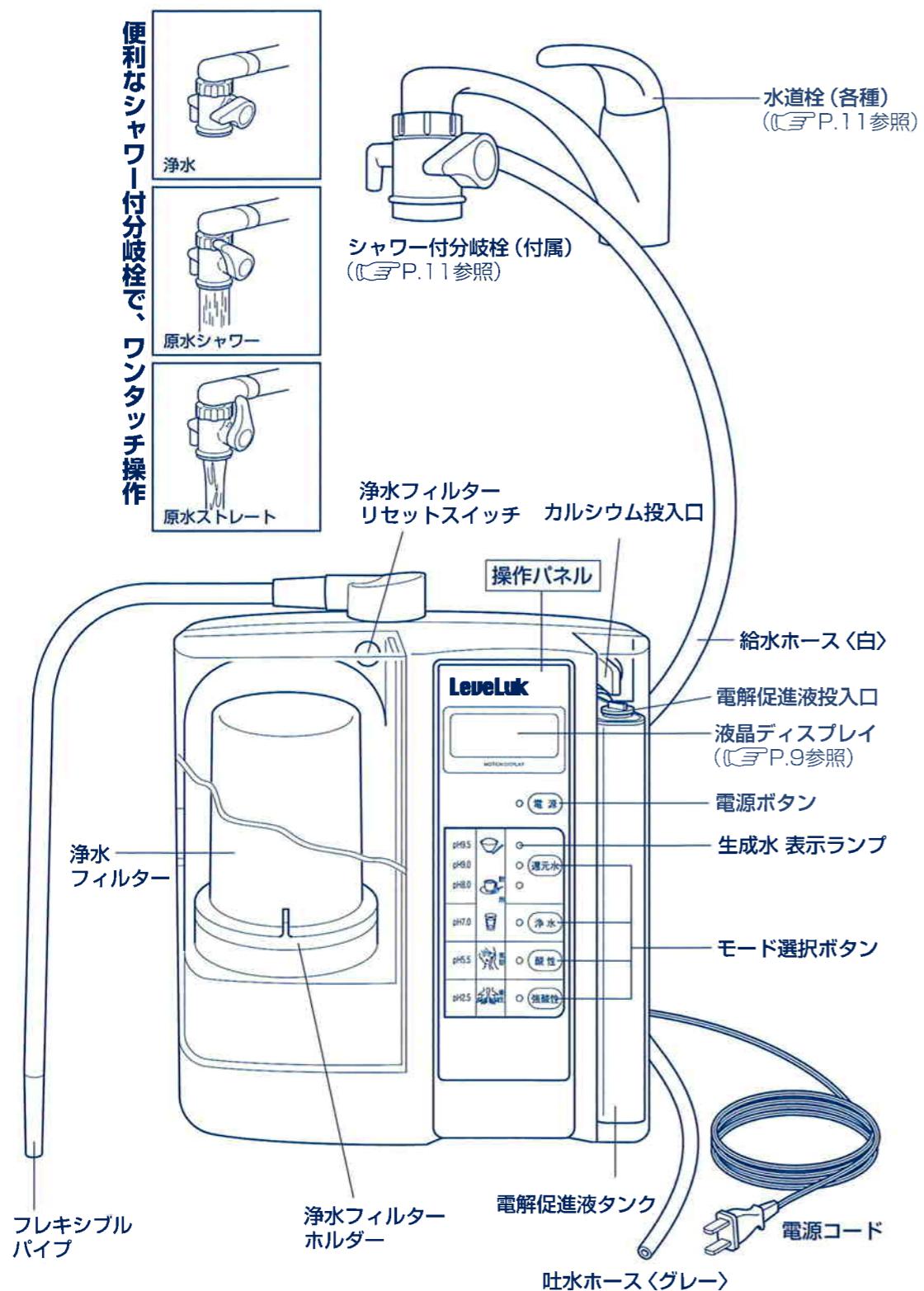
強酸性水生成中は、有害なガスが発生しますので、換気は十分におこなってください。
密室でガスが充満すると最悪の場合人命にかかる場合があります。

■付属品

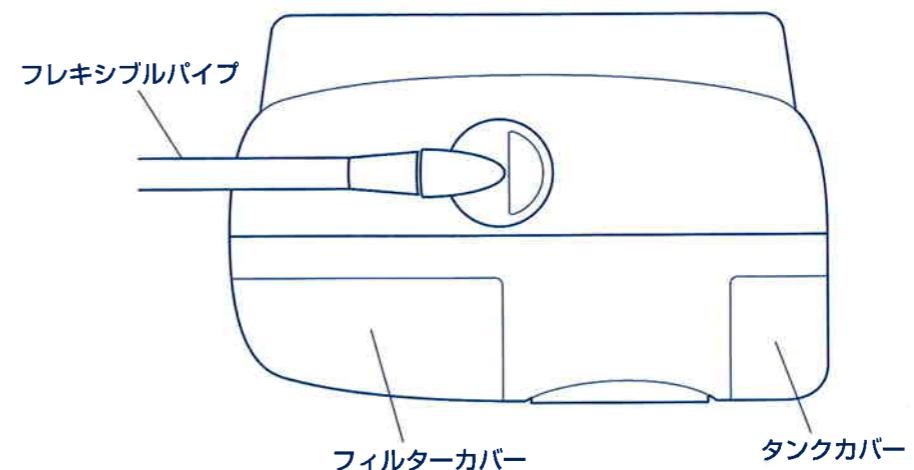
●付属品



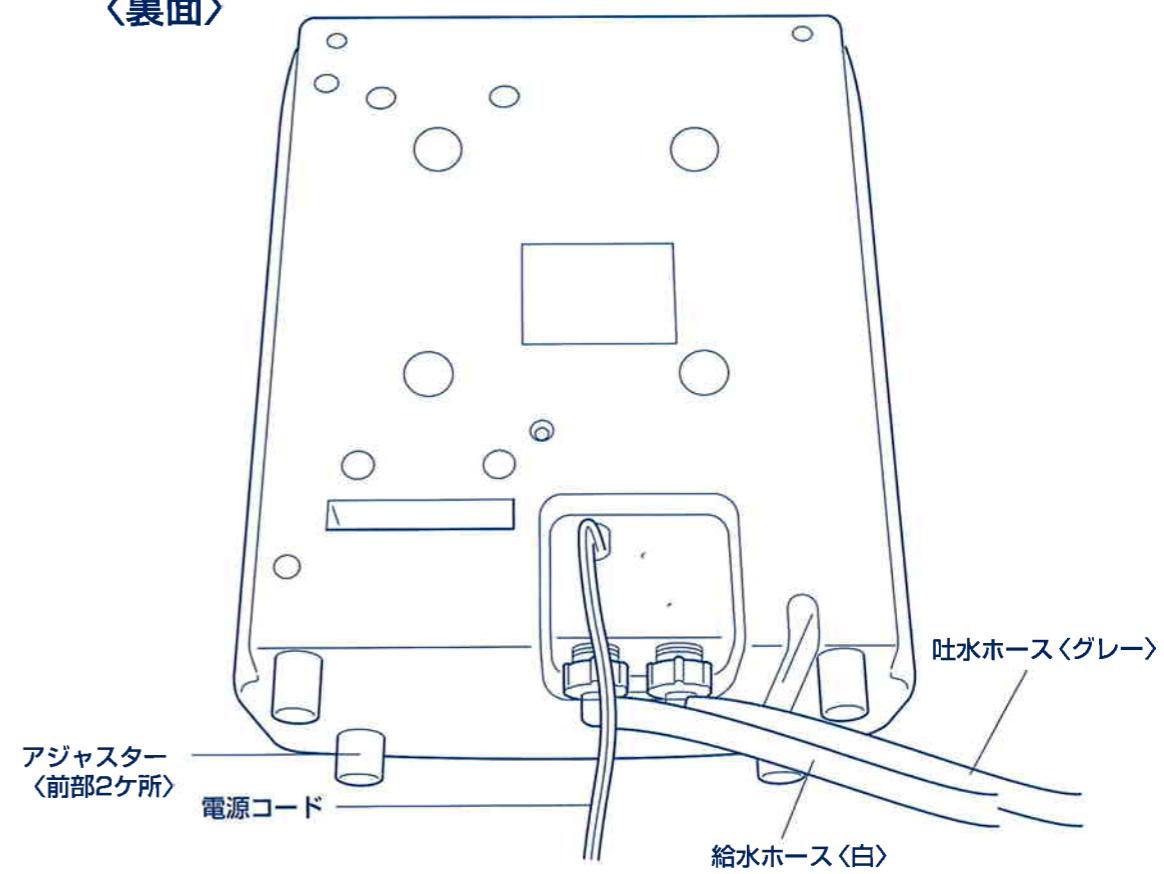
■各部の名称



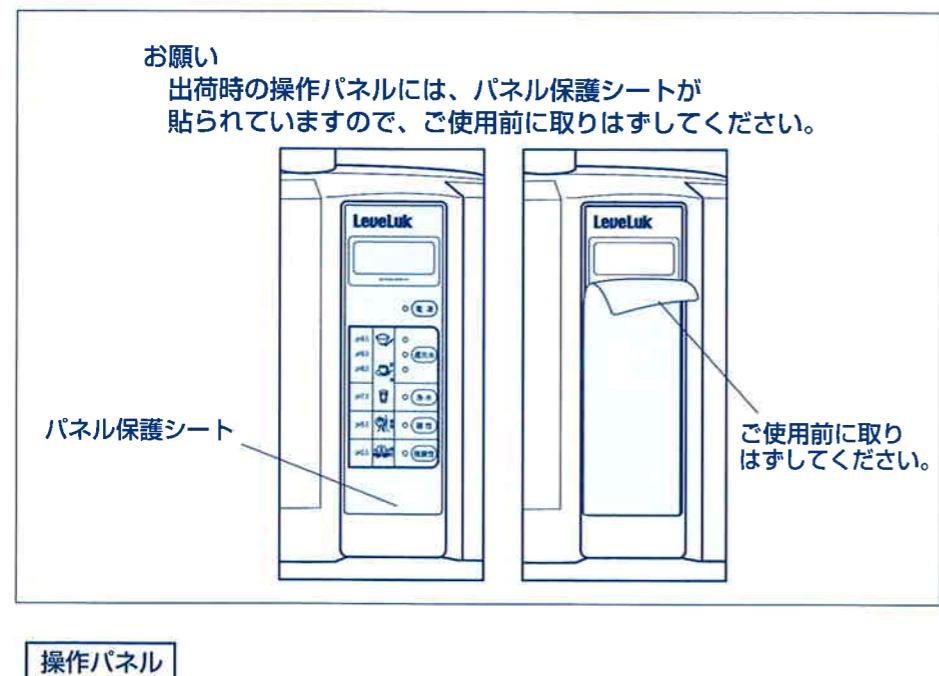
〈上面〉



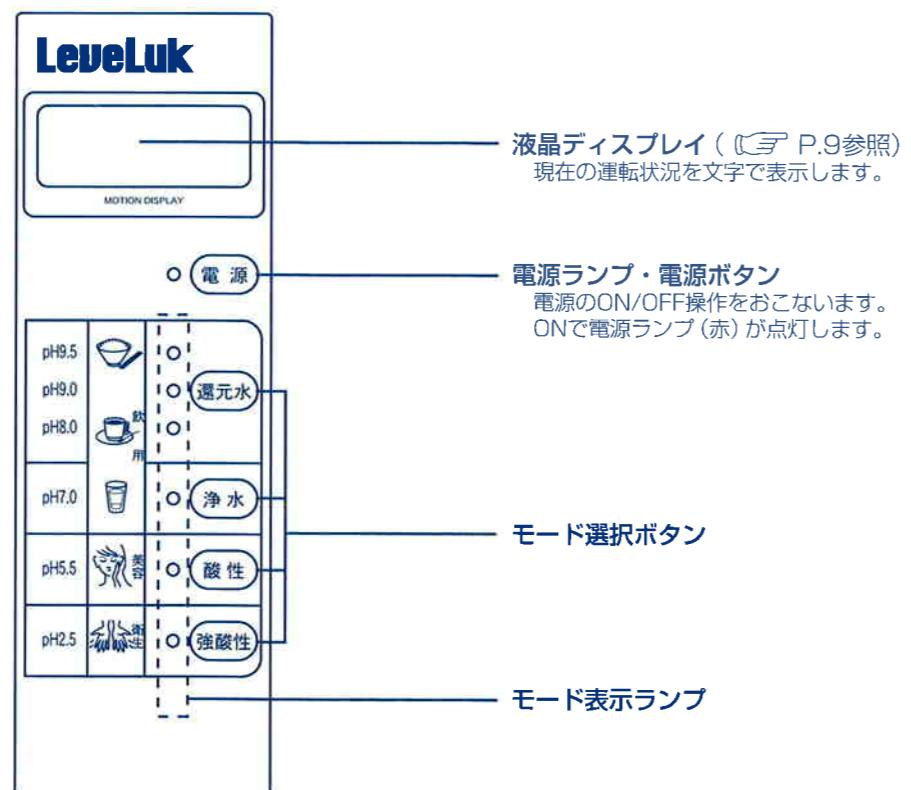
〈裏面〉



■操作パネル



操作パネル



■液晶ディスプレイ文字表示および音声ガイダンス一覧

待機時	動作時	その他
<p>■ カンゲン ■ インヨウスイ</p> <p>カンゲンスイ キュウデス カンゲンスイ チュウデス カンゲンスイ ジャクデス</p>	<p>■ カンゲン ■ 〉〉〉〉 ……</p> <p>カンゲンスイ キュウガデマス カンゲンスイ チュウガデマス カンゲンスイ ジャクガデマス</p>	<p>●水量が多い場合</p> <p>スイリョウオオイ スイセンシボル ピーピーピー + スイリョウガオオスギマス スイセンヲシボッテクダイ</p>
<p>■■サンセイ■■ ビヨウスイ</p> <p>サンセイスイデス</p>	<p>■■サンセイ■■ 〉〉〉〉 ……</p> <p>ピーッピーッピーッ + サンセイスイガデマス</p>	<p>●温度保護作動時</p> <p>オンド ホゴ</p> <p>ピーピーピー + オンドホゴガハタラキマシタ</p>
<p>■キョウサンセイ センジョウスイ</p> <p>キョウサンセイスイデス</p>	<p>■キョウサンセイ 〉〉〉〉 ……</p> <p>ピーッピーッピーッ + キョウサンセイスイガデマス</p>	<p>●強酸性水生成中に電解促進剤が無くなった時、または電解促進剤が入っていない時</p> <p>ソクシンザイ イレテクダサイ ピーピーピー + ソクシンザイガナクナリマシタ</p>
<p>ジョウスイ</p> <p>ジョウスイデス</p>	<p>ジョウスイ 〉〉〉〉 ……</p> <p>ジョウスイガデマス</p>	<p>●热水が流れた時</p> <p>ネッスイ ホゴ</p> <p>ピーピーピー + キュウスイオンドガタカスギマス</p>
<p>クリーニング</p> <p>クリーニングシマス</p>	<p>クリーニング 〉〉〉〉 ……</p> <p>ピーッピーッピーッ + クリーニングシティマス</p>	<p>●浄水フィルターリセットを押した時</p> <p>フィルター リセット ピーピーピー + フィルターリセットサレマシタ</p>
<p>●操作音量の変更時 (P.15参照)</p> <p>①スタート時 オンセイキリカエ ■■—ショウ</p> <p>※初期設定時（工場出荷時）</p>		<p>●浄水フィルター交換時期</p> <p>フィルター コウカン ピッピッピ</p>
<p>② オンセイキリカエ ■■■■■ダイ</p> <p>③ オンセイキリカエ ——ナシ</p>		<p>●電源コンセントを入れた後3秒間表示</p> <p>○○○○○○H ○○○○○○H</p> <p>(異常ではございません)</p>
		<p>※この表示中は電源ボタンを押しても受けつけません。この表示が消えてから電源ボタンを押してください。</p>

! 注意

- Leveluk Jr. II には、音声ガイダンス（案内） 機能はありません。

1 準 備

■設置場所の選定

！ 警告

-  禁止
- 強酸性水生成時に、塩素ガスが発生しますので、閉めきった狭い部屋でのご使用はお避けください。
 - 本製品は重量物であり、化学的な物質を生成することから
 - ・製品の転倒による人身への損傷や製品および製品周辺物の損壊
 - ・製品運転中に発生するガスによる中毒等の危険性がありますので、以下の事を必ず守って設置してください。
 - 誤った吐水配管は、故障・水漏れの原因となりますので、以下の項目を守り配管をおこなってください。

！ 注意



- 必ず守る
- 本体の上に物を置かないでください。故障または、落下事故の原因となることがあります。
 - 吐水ホースはふさがないでください。(水モレ、または、電解に支障をきたすことがあります。)
 - 吐水ホースは、ネジレ、折れのないことを確認してください。
(水モレ、または、電解に支障をきたすことがあります。)
 - 吐水ホースは、本体より上に設置しないでください。本体内部の残水排出ができなくなります。
 - 本体を移動（輸送）する時は、電解促進液タンクに促進液を入れたまま本体を傾けたり、移動しないでください。
また、本体を輸送する場合には、電解促進液タンクを空にしてください。液漏れを起こし、故障の原因となります。

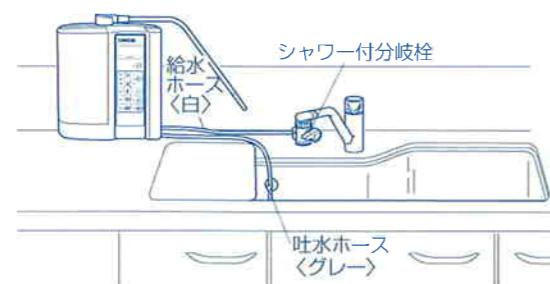
●以下の場所に設置してください。

<ul style="list-style-type: none">●換気が十分にできる風通しの良い場所	<ul style="list-style-type: none">●可燃物が近くにない場所●室内温度5~40°C以内である場所●湿度90%を超えない場所	<ul style="list-style-type: none">●設置面の歪まない水平で平坦な場所●本体重量を確実に保持できる場所
<ul style="list-style-type: none">●直射日光や紫外線、赤外線のあたらない場所●風雨にさらされない場所	<ul style="list-style-type: none">●多量の水や蒸気のかからない場所●薬品のかからない場所●粉塵のかからない場所	

■本体の設置方法

流し台の上に設置

●水平な位置に設置してください。

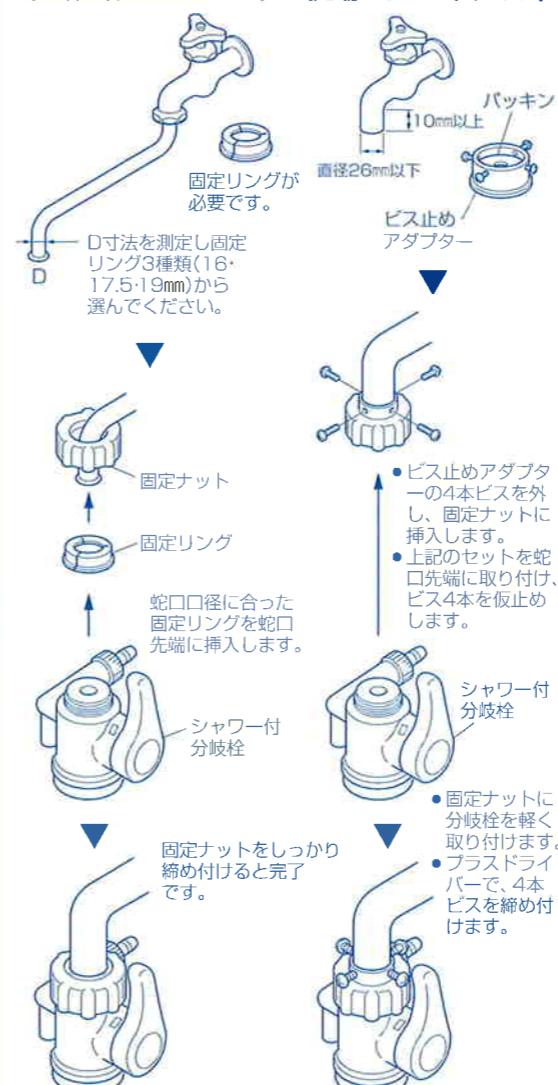


シャワー付分岐栓の取り付け方法

■取り付けできない蛇口がございますので、はじめに蛇口の種類をご確認ください。
次に蛇口に合った取り付け方法に従って取り付けてください。

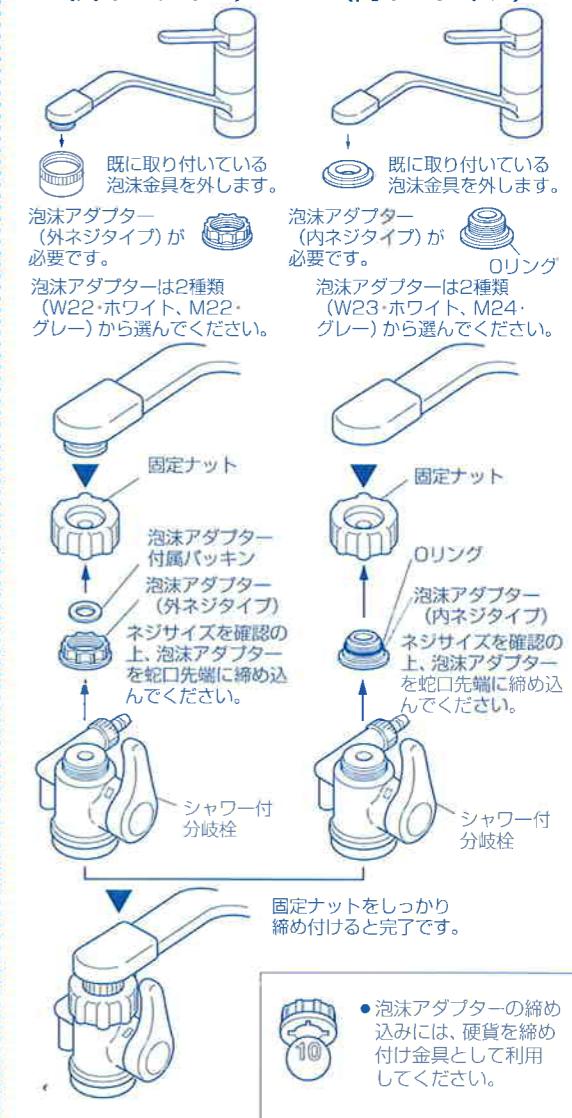
丸型蛇口の取り付け方法

(先端が膨らんだタイプ) (先端ストレートタイプ)



泡沢蛇口の取り付け方法

(外ネジタイプ) (内ネジタイプ)



！ ネジ部分を取り付ける際、ネジ径、ネジピッチ（ネジ山間隔）が合っていない場合、取り付け部のネジが破損する事があります。ネジ径、ネジピッチは正しくご確認ください。

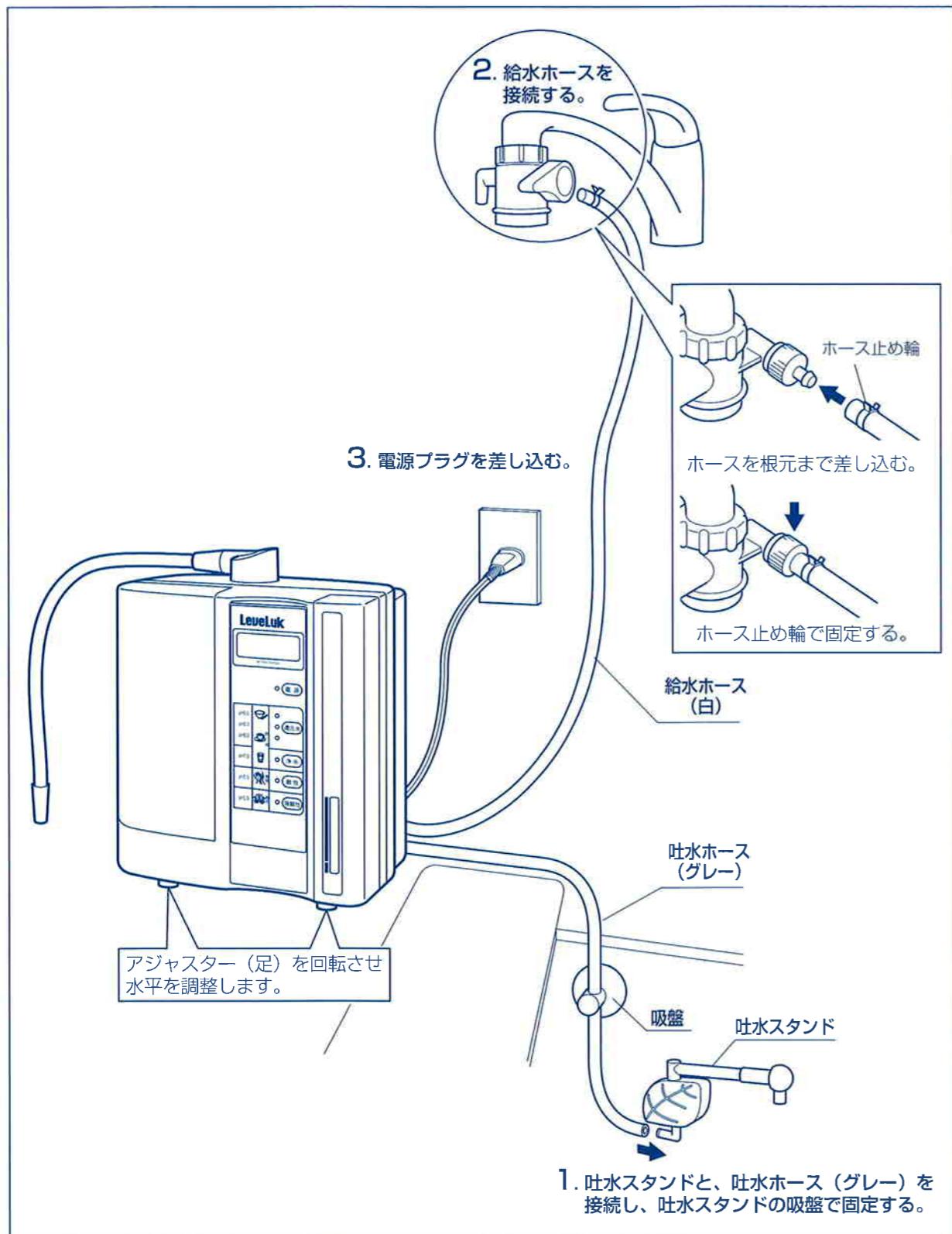
右記の様な蛇口は、シャワー付分岐栓を取り付ける事ができません。

シャワーノズル付	センサー付	ネジの径が違う	ストレート部分が短い	蛇口の先端が四角のもの
		●付属アダプターと合わない場合 Φ22mmは可能		

この場合、専用蛇口を別に設置するか、特殊分岐栓を設置する事で取り付け可能となります。
詳しくは、フリーダイヤルまでご連絡ください。 ☎ 0120-84-4132

本体の取り付け方法

■順番（1～3）に取り付けてください。



電気配線について

■家庭用100V・50/60Hzのコンセントでご使用ください。

! 警告

- 電源コードを、傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差しこみがゆるいときは使用しないでください。感電・ショート・発火の原因となることがあります。
- 電源コードをステップル等で固定することは、おやめください。
電源コードが破損し、感電・発火の原因となることがあります。
- タコ足配線はおやめください。発熱し、火災の原因となることがあります。
- コンセント部にほこりがついた場合は、電源プラグを抜いて、拭いてください。
ほこりがついたままにしておくと、火災の原因となることがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜き差しする場合は、必ずプラグを持っておこなってください。コードを引っ張るとコードが傷み、火災・感電の原因となることがあります。
- 定格表示された電源電圧以外では使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 電源コードが破損した場合、コード交換は危険を防止するため自分ではおこなわず、販売先に修理を依頼してください。

! 警告

- 電源コードは、容易に離脱しないように接続されていることを確認して使用してください。
- 操作ボタンが正常に作動するか、確認して使用してください。
- 本体に大量の水がかかったときは、感電の原因となります。
大量の水がかかったときは、
(1) コンセントから電源プラグを抜き
(2) 本体の水を拭き取り
(3) お求めの販売先に修理を依頼してください。
- 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。また、お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となります。
- 長時間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

2 ご使用方法（基本操作）

■本機は、4つの基本操作で還元水・酸性水・強酸性水・強還元水・浄水の5種類の生成水をつくることができます。

■ご使用時の基本操作について

つくりたい生成水	スイッチおよび蛇口操作	生成される水と取水箇所
① 還元水	(還元水)ボタンを押し、水道栓の蛇口を開ける。 ●pH値を変更する場合は、(還元水)ボタンを押し、切り替える。(3段階) pH 9.5 強 ③ボタンを押す pH 9.0 中 ②ボタンを押す pH 8.0 弱 ①ボタンを押す △注意 医薬品を飲むときは、使用できません。	還元水 (フレキシブルパイプより吐出) (約pH8.0~9.5) 酸性水 (吐水ホースより吐出) ※飲用は、できません。
② 浄水	(浄水)ボタンを押し、水道栓の蛇口を開ける。	※医薬品を飲む場合には、浄水モードでお飲みください。 浄水 (フレキシブルパイプより吐出) (約pH7.0) ※浄水は、吐水ホースからも吐出しますが、フレキシブルパイプより吐出する水をご使用ください。
③ 酸性水	(酸性)ボタンを押し、水道栓の蛇口を開ける。	酸性水 (フレキシブルパイプより吐出) (約pH5.5~6.5) ※飲用は、できません。 還元水 (吐水ホースより吐出) ※飲用は、できません。
④ 強酸性水 (※強還元水が、同時に吐出)	電解促進液タンク内の容量を確認後、(強酸性水)ボタンを押し、水道栓の蛇口を開ける。	強酸性水 (吐水ホースより吐出) (約pH2.3~2.7) ※飲用は、できません。 強還元水 (フレキシブルパイプより吐出) (約pH10.0~) ※飲用は、できません。
⑤ 強還元水	(強還元水)ボタンを押し、水道栓の蛇口を開ける。	
△注意 飲用は、できません。		

△ 注意

- 生成する水の種類により操作方法が異なります。
- 必ず手順を守ってご使用ください。(P.16~参照)
- 誤った操作や設定をおこなうと、正常な動作をせず故障の原因となることがあります。

LeveLuk⁵⁰¹ · LeveLuk^{DXII}

操作音量の変更について

■操作パネルのボタンで、音声の音量を調節することができます。

1	電源OFF(切)状態で、(還元水)ボタンを3秒以上押し、音声切替モードに設定します。 ●還元水ランプが点滅します。	
2	ランプが点滅中に(還元水)ボタンを押して音量を選択します。 点滅中に押す 点滅中、押すたびに大、切、小の順番で変更します。	
3	■液晶ディスプレイの表示 (音声切替モード時) ③ オンセイキリカエ ――――ナシ → ①スタート時 オンセイキリカエ ■■――ショウ → ② オンセイキリカエ ■■■■ダイ ※初期設定時 (工場出荷時)	
3	音量設定操作終了後、15秒後に電源は切れます。または、(還元水)ボタン以外(電源・浄水・酸性・強酸性)のいづれかのボタンを押すと、すぐに電源は切れます。再度電源ボタンを押すと、生成水モードに戻ります。	

△ 注意

- LeveLuk^{DXII}には、音声ガイダンス(案内)機能はありません。

還元水のつくり方

△ 注意 医薬品を飲むときは、使用できません。

△ 注意 • LeveLuk Jr II には、音声ガイダンス（案内） 機能はありません

1 電源 ボタンを押してON（入）にします。

- 電源ランプが点灯します。

ボタン音（ピッ）+音声ガイダンス



2 (還元水)ボタンを押し、還元水モード pH9.5・pH9.0・pH8.0のいずれかに設定します。

- ボタンを押すごとに、3段階の切り替えができ、設定したランプが点灯します。

ボタン音（ピッ）+音声ガイダンス

※pH値は、水質・水圧により変動します。

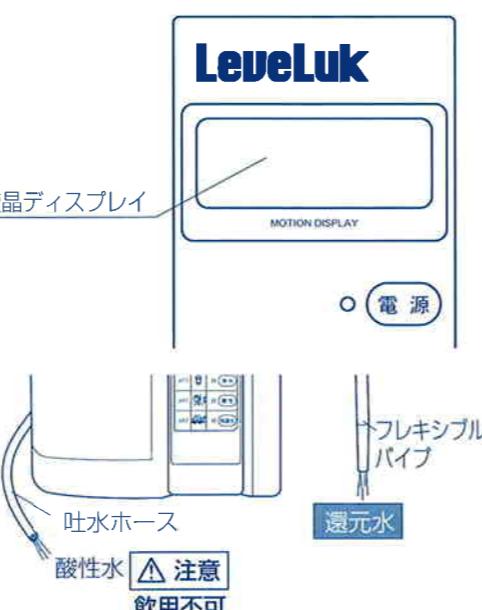


①水道栓のシャワー付分岐栓のレバーを [浄水] にし、水道栓の蛇口を開きます。

△ 注意

- 給水量（給水圧）が不足の場合、音声ガイダンスとアラーム音、液晶ディスプレイの文字でお知らせします。（P9参照）

※水道栓の蛇口を、さらに開いてください。



3 ②生成水が吐出します。

- フレキシブルパイプから還元水が吐出します。
- 吐水ホースから酸性水が吐出します。

音声ガイダンス

△ 注意

- 初期の生成水は、使用しないでください。（LED点滅中の生成水）
(本体内残水を排出するため、コップ1~2杯程度の捨て水をおこなってください。)
※初期通水の場合、生成水が黒く濁ることがあります（故障ではありません）。
(浄水フィルター内の余分な活性炭が流出したもので、濁りがなくなつてから取水してください。)

運転の停止方法

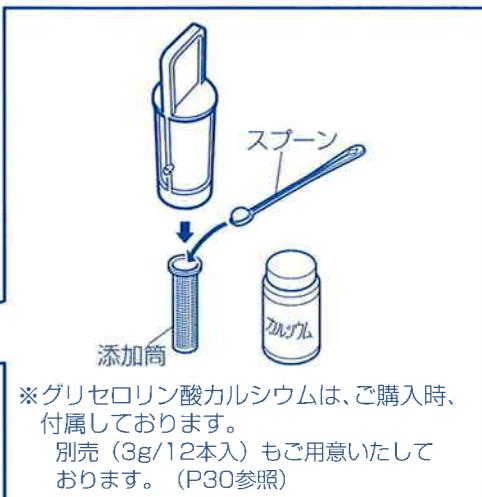
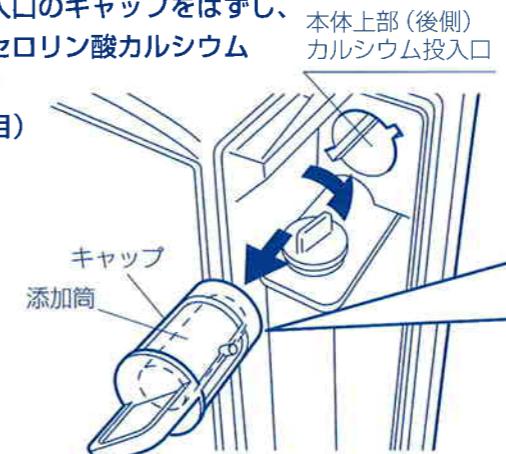
4

- 水道栓の蛇口を閉めて、生成を止めます。

（連続して生成される場合は、操作手順の3に戻ってください。）

グリセロリン酸カルシウム（付属）を添加してご使用される場合

- タンクカバーをはずして、本体右上部のカルシウム投入口のキャップをはずし、添加筒にグリセロリン酸カルシウム（付属）を約2g（添加筒約8分目）入れます。



※グリセロリン酸カルシウムは、ご購入時、付属しております。
別売（3g/12本入）もご用意いたしております。（P30参照）

△ 注意

- グリセロリン酸カルシウム（付属）をご使用されると、還元水のカルシウム濃度が上がります。
- pH濃度も上がりますので、ご希望のpH値に（還元水）ボタンで設定してください。
- グリセロリン酸カルシウムを使用する場合は、内部にカルシウムが溶け残らないよう、時々カルシウム筒の洗浄をしてください。

還元水のpH値測定方法

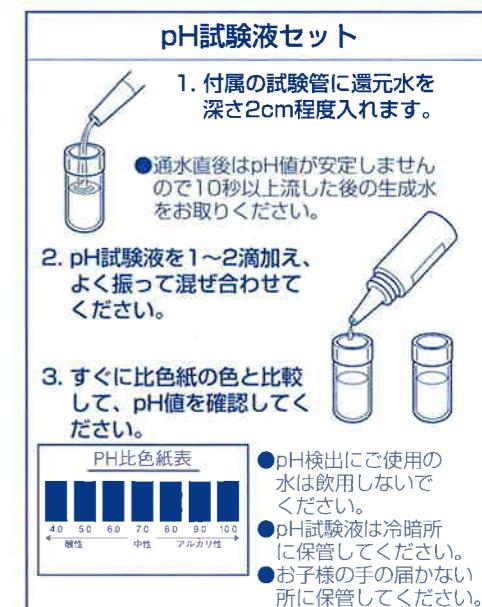
- 生成された還元水のpH値をpH試験液セット（付属）で、1ヶ月に1回以上測定してください。

適正值

飲用可能範囲…約pH8.0～9.5

△ 注意

- pH値は水道の水質や水圧により変動します。



酸性水のつくり方 △注意 飲用は、できません。

△注意 • LeveLuk Jr II には、音声ガイダンス（案内） 機能はありません

1 電源 ボタンを押してON（入）にします。

- 電源ランプが点灯します。

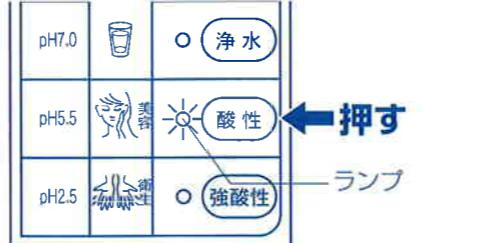
ボタン音（ピッ）+音声ガイダンス



2 酸性 ボタンを押します。

- 酸性ランプが点灯します。

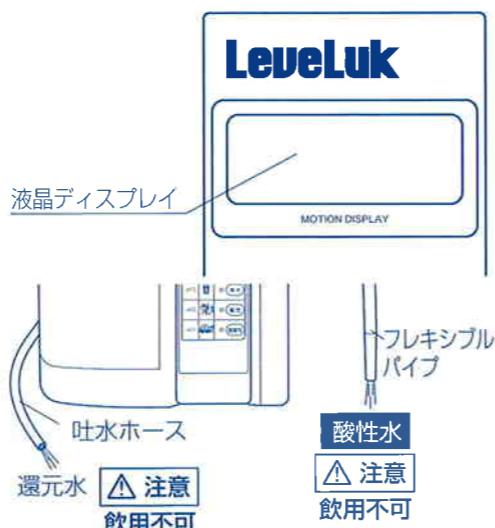
ボタン音（ピッ）+音声ガイダンス



①水道栓のシャワー付分岐栓のレバーを **浄水** にし、水道栓の蛇口を開きます。

△ 注意

- 給水量（給水圧）が不足の場合、音声ガイダンスとアラーム音、液晶ディスプレイの文字でお知らせします。（P.9参照）
- ※水道栓の蛇口を、さらに開いてください。



3 ②生成水が吐出します。

- フレキシブルパイプから **酸性水** が吐出し、生成音「ピーッピーッピーッ」が鳴ります。
- 吐水ホースから還元水が吐出します。

音声ガイダンス+アラーム音（ピーッピーッピーッ）

△ 注意

- 初期の生成水は、使用しないでください。（LED点滅中の生成水）
(本体内残水を排出するため、コップ1~2杯程度の捨て水をおこなってください。)
※初期通水の場合、生成水が黒く濁ることがあります（故障ではありません）。
(浄水フィルター内の余分な活性炭が流出したもので、濁りがなくなつてから取水してください。)

4 運転の停止方法

- 水道栓の蛇口を閉めて、生成を止めます。
(連続して生成される場合は、操作手順の3に戻ってください。)

強酸性水・強還元水のつくり方 △注意 飲用は、できません。

△注意 • LeveLuk Jr II には、音声ガイダンス（案内） 機能はありません

■電解促進液約440mlの投入（1回）で、強酸性水が〈LeveLuk SD 501: 約30ℓ〉×〈LeveLuk DX II : 約20ℓ〉×〈LeveLuk Jr II: 約15ℓ〉生成できます。

△ 警告

- 強酸性水生成中は、有害なガスが発生しますので、換気は十分におこなってください。密室でガスが充満すると最悪の場合人命にかかる場合があります。

△ 注意

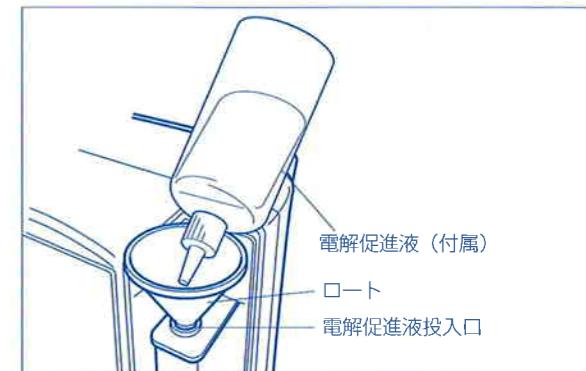
- 強酸性水をつくる場合、必ず事前に電解促進液をタンク本体に添加してください。
- 電解促進液は、必ず当社指定品をご使用ください。

■電解促進液（付属）の添加方法

①タンクカバーをはずし、電解促進液タンクの電解促進液投入口のキャップをはずします。



②投入口から電解促進液約440mlをタンク内に入れます。

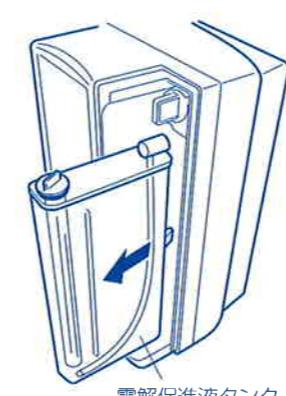


③投入口にキャップを取り付け、締めます。

△ 注意

- 強酸性水生成後、他のモードに切り替えた時、洗浄待機状態になります。次に、還元水・浄水を生成開始時に約30秒間自動洗浄します。
- 電解促進液タンクは、時々洗浄してください。
〈電解促進液タンクの洗浄方法〉

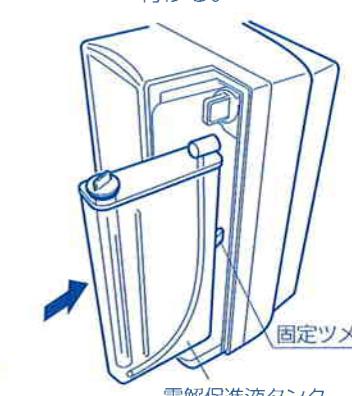
①タンクカバーをはずし、電解促進液タンクを取り出す。



②電解促進液タンクからフタを取りはずし、タンク本体を洗浄する。



③電解促進液タンクを元通り取り付け、タンクカバーを取り付ける。



1 (電源) ボタンを押してON (入) にします。
●電源ランプが点灯します。
▶ボタン音(ピッ)+音声ガイダンス

2 強酸性ボタンを押します。
●強酸性ランプが点灯します。
▶ボタン音(ピッ)+音声ガイダンス

3 ①水道栓のシャワー付分岐栓のレバーを **浄水** にし、水道栓の蛇口を開きます。

△注意

- 給水量(給水圧)が不足の場合、音声ガイダンスとアラーム音、液晶ディスプレイの文字でお知らせします。(P.9参照)
※水道栓の蛇口を、さらに開いてください。
- タンクの初期使用時、またはタンク内の電解促進液を使い切った場合には、電解促進液が電解槽に到達まで約40秒かかります。その間、液晶ディスプレイに「ソクシンザイ イレテクダサイ」と、エラー表示されますが、約20秒後、正常に動作いたしますのでお待ちください。
- 強酸性水pHが出ているのに、「ソクシンザイ イレテクダサイ」の表示が30秒以上消えない場合は、給水流量を絞ってください。

4 ②生成水が吐出します。
●吐水ホースから **強酸性水** が吐出し、生成音「ピーッ ピーッピーッ」が鳴ります。
●フレキシブルパイプから強還元水が吐出します。
▶音声ガイダンス+アラーム音(ピーッピーッピーッ)

△注意

- 初期の生成水は、使用しないでください。(LED点滅中の生成水)
(本体内残水を排出するため、コップ1~2杯程度の捨て水をおこなってください。)
- 電解促進液が不足の場合、音声ガイダンスとアラーム音、液晶ディスプレイの文字でお知らせしますので、投入してください。
- 強酸性水・強還元水生成後、他のモードに切り替えた時、洗浄待機状態になります。次に、還元水・浄水を生成開始時に約30秒間自動洗浄します。
※初期通水の場合、生成水が黒く濁ることがありますが故障ではありません。
(浄水フィルター内の余分な活性炭が流出したもので、濁りがなくなつてから取水してください。)

4 運転の停止方法
●水道栓の蛇口を閉めて、生成を止めます。
(連続して生成される場合は、操作手順の3に戻ってください。)

強酸性水のpH値測定方法

- ブックpH試験紙(付属)で測定してください。
- ブックpH試験紙使用方法

1 試験紙を静かに検水に浸し、すぐに(0.5秒以下)ひきあげます。

2 試験紙を軽くふって、余分についている検水をのぞきます。

3 検水がついてぬれている部分の色を、できるだけ早く標準色表と比較します。
※比較・判定は明るい場所でおこなってください。

△注意

- pH試験液(赤色液)は、pH4.0以下の測定はできません。強酸性水は、pH試験紙で測定してください。pH3.0以下の測定ができます。
- pH試験紙は、強酸性水のpH測定にのみご使用ください。
- pH試験紙は、なめたりしないでください。また、誤ってなめた場合、すぐにうがいをしてください。
- 試験紙を検水に永くつけておきますと色素が溶け出して、正しい結果が得られません。
※(0.5秒以下)
- 試験紙を検水から引き上げてから永く置きますと、水分が蒸発したり、試験紙の上部にじみ出し正しい結果を示しません。
- 高温度の検水では試験紙からの色素の溶出がおこるので、検水を室温にしてください。
- 試験紙は、保管状態で外観が変わることがありますが、実際の使用には影響がありません。
- 試験紙は、乾燥した冷暗所で保管してください。

浄水のつくり方

△注意 • LeveLuk®II には、音声ガイダンス（案内） 機能はありません

1 電源 ボタンを押してON（入）にします。

- 電源ランプが点灯します。

ボタン音（ピッ）+音声ガイダンス



2 浄水 ボタンを押します。

- 浄水ランプが点灯します。

ボタン音（ピッ）+音声ガイダンス



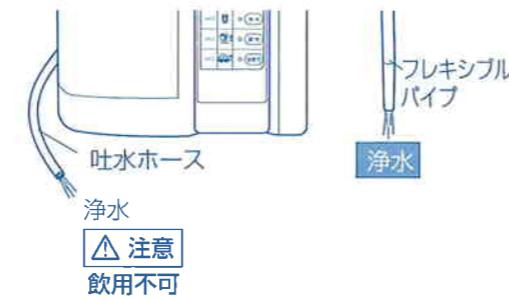
①水道栓のシャワー付分岐栓のレバーを **浄水** にし、水道栓の蛇口を開きます。



②生成水が吐出します。

- フレキシブルパイプから **浄水** が吐出します。
※吐水ホースからも浄水が吐出しますが、使用しないでください。

音声ガイダンス



△注意

- フレキシブルパイプから吐出した浄水をご使用ください。
- 初期の生成水は、使用しないでください。
(本体内残水を排出するため、コップ1~2杯程度の捨て水をおこなってください。)
※初期通水の場合、生成水が黒く濁ることがあります。故障ではありません。
(浄水フィルター内の余分な活性炭が流出したもので、濁りがなくなつてから取水してください。)

運転の停止方法

- 水道栓の蛇口を閉めて、生成を止めます。
(連続して生成される場合は、操作手順の3に戻ってください。)

クリーニングについて

△注意

• LeveLuk®II には、音声ガイダンス（案内） 機能はありません

- クリーニング時の水は、飲用しないでください。

電解槽内部の電極板にカルシウム等が付着すると、機器性能が低下する原因となりますので、本機では自動的にクリーニングに切り替えをおこないます。

〈洗浄中〉

音声ガイダンス + アラーム音

1

〈通水中〉

クリーニング

> > > >

液晶ディスプレイ

ピーピーピーピーッ

- 還元水・酸性水・強酸性水生成時に使用時間が15分になると、自動クリーニング予告をおこないます。

- クリーニング予告がされますと
(還元水)・(酸性水)・(強酸性水)・(浄水)の各生成開始時、約30秒間自動クリーニングをおこない、その後、各生成を始めます。

△注意 各モードの動作中は、途中で「クリーニング」には切り替わりません。次の通水開始時に自動クリーニングをおこないます。

〈クリーニング予告のお知らせ〉

〈待機時〉

音声ガイダンス

2



液晶ディスプレイ

生成モードの表示とクリーニングを交互に表示

- 次の生成開始時に、クリーニングをおこなう場合には、左記のような予告表示をします。液晶ディスプレイで、選択された生成水とクリーニングを交互に表示して、待機します。

このような場合、自動クリーニングします。

①使用時間が積算15分になったとき。

(還元水・酸性水・強酸性水生成時の場合は、生成後、クリーニング予告・待機に入ります。※浄水はのぞく)

②強酸性水生成後、還元水または、酸性水・浄水を生成するとき。

③24時間以上使用しなかったとき。

△注意

- 電源プラグをコンセントから抜く時は、電源スイッチをOFF（切）にしてから、電源プラグを抜いてください。直前のクリーニング情報が失われ、次回クリーニングが早くなる場合があります。

3 浄水フィルターの交換方法

△注意 • LeveLuk®II には、音声ガイダンス（案内） 機能はありません

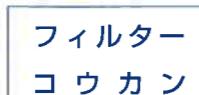
■浄水フィルターは、ご購入時標準装備しております。

（交換時は、別売の浄水フィルター①鉛・塩素等除去タイプ（MW-7000HG）、②塩素等除去タイプ（MW-7000R）の2種類をご用意いたしております。ご購入は、フリーダイヤル  (0120-84-4132) へお問い合わせください。）

1 浄水フィルター交換時期は、止水した時に、音声ガイダンス、アラーム音と操作パネルの液晶ディスプレイで、選択された生成水とフィルターコウカンを交互に表示してお知らせします。

●浄水フィルター交換時期

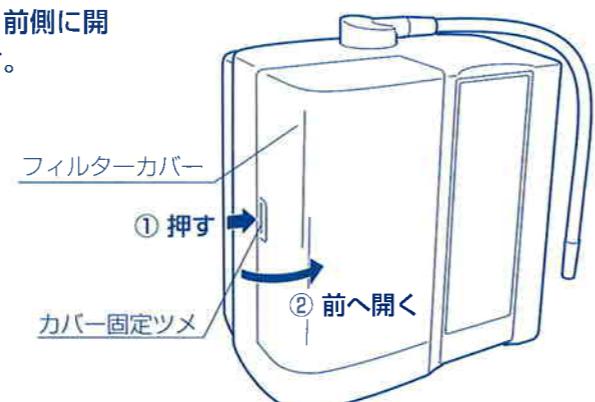
 音声ガイダンス+アラーム音+



△注意

- 通水中は、「フィルターコウカン」は表示しません。
- 必ず水を止めてから交換作業を行ってください。

2 本体左側のカバー固定ツメを押しながら、前側に開けて、フィルターカバーを取りはずします。

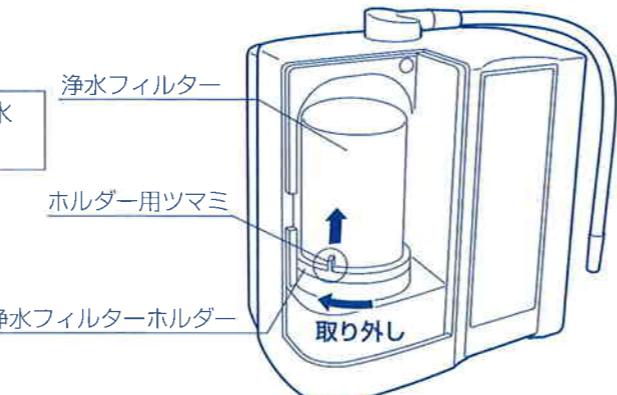


2

3 浄水フィルターのツマミを左に約40度廻してロックをはずし、浄水フィルターを上に引き上げ、取りはずします。

△注意

- 取り外しの際、フィルター内に残った水が多少漏れますので注意してください。

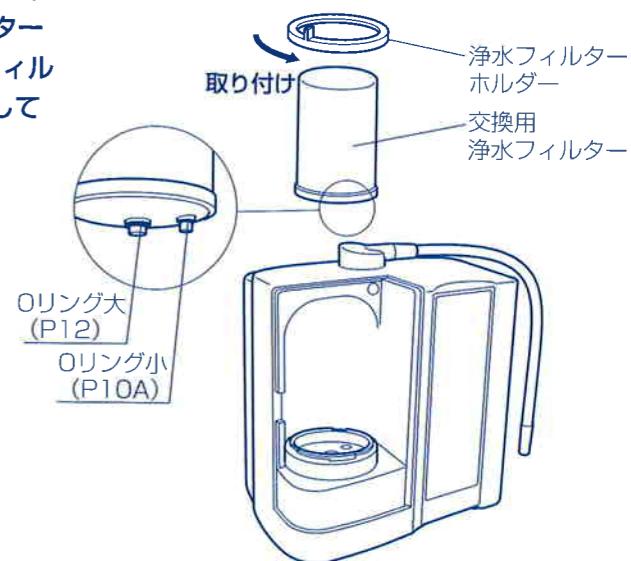


4 本体に古いOリングが残っていないこと、取り付け位置をよく確認の上、浄水フィルターをしっかりと差し込んで取り付け、浄水フィルター ホルダーのツマミを右に約40度廻して固定します。

<Oリング原寸大>

Oリング大
(P12)

Oリング小
(P10A)



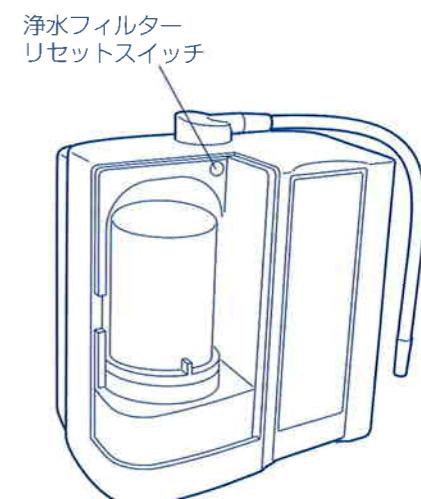
△注意

- 浄水フィルターにOリングが2箇所はめられているかご確認ください。
- 浄水フィルター ホルダーがきっちりと入っているかご確認ください。

4 浄水フィルターのリセットスイッチを押します。音声ガイダンスとアラーム音が「ピーッ」と鳴り、液晶ディスプレイに  フィルター リセット と表示されます。

 音声ガイダンス+アラーム音(ピーッ)

4



5 フィルターカバーを取り付け、完了です。

△注意

- 交換用浄水フィルターは、必ず当社指定品をご使用ください。
(指定外のものを使用すると、機能不備や故障の原因となります。)
- 使用済みの浄水フィルター（可燃物）は、地域で定められた条例に従って廃棄してください。
(浄水フィルターケース材質は、ABS樹脂です。内部ろ過材はP.31の標準仕様を参照してください。)

4 安全に関するご注意

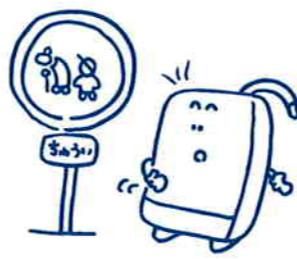
■ケガや事故防止のため、以下のことを必ずお守りください。

! 警告

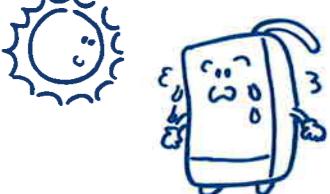
禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●生成した還元水を飲用する場合、次のことに注意ください。 <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品を生成水で飲用しないでください。 ・無酸症の人は、生成水を飲用しないでください。 ・飲用して身体に異常を感じたとき、または飲用し続けても症状に改善が見られないときは、医師または薬剤師に相談してください。 ・医師の治療を受けている人や、身体に異常を感じているときは、使用前に医師または薬剤師に相談してください。
	

- お子様やお年寄りなどがご使用される場合は、十分な注意をお願いします。
～事故の原因となります～

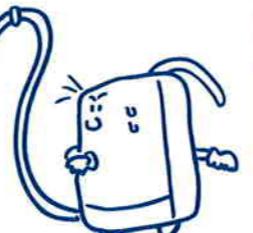
必ず守る

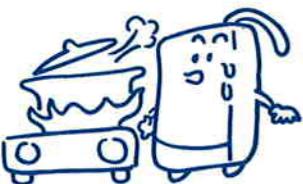


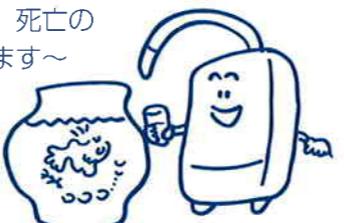
! 注意

必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●直射日光を避けてください。 ～変形の原因となります～
	

必ず守る	<ul style="list-style-type: none"> ●本体に水や、油をかけないでください。 ～火災・感電の原因となります～
	

	<ul style="list-style-type: none"> ●吐水ホースを持ち上げたまま使用しないでください。 ～吐水ができなくなり、機能不備の原因となります～
	

	<ul style="list-style-type: none"> ●本体を熱いものや、腐食性ガスのそばに置かないでください。 ～変形・破損の原因となります～
	

	<ul style="list-style-type: none"> ●金魚や生き物などの水に、使用しないでください。 ～生育不良や、死亡の原因となります～
	

! 注意

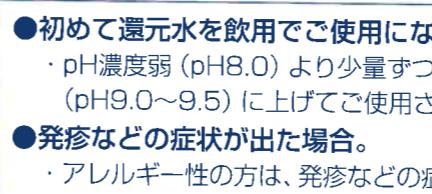
<ul style="list-style-type: none"> ●本体の上に物を置かないでください。 ～落下の原因となります～


<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを傷めたままで、ご使用にならないでください。 ～火災・感電・機能不備の原因となります～


<ul style="list-style-type: none"> ●分解・改造などは、しないでください。 ～火災・感電・事故の原因となります～


<ul style="list-style-type: none"> ●フレキシブルパイプの先端を水中に入れたまま、使用しないでください。 ～水中の内容物が機器内に逆流し機能不備・故障の原因となります～


<ul style="list-style-type: none"> ●初めて還元水を飲用でご使用になる場合。(医薬品を飲むときは、使用できません。) ・pH濃度弱(pH8.0)より少量ずつ(コップ1~2杯)2週間程度慣れていただき、順次pH濃度(pH9.0~9.5)に上げてご使用されることをおすすめします。


<ul style="list-style-type: none"> ●発疹などの症状が出た場合。 ・アレルギー性の方は、発疹などの症状が出る場合があります。その場合、飲用を中止し医師にご相談ください。


<ul style="list-style-type: none"> ●飲料水に合格した水で使用してください。(水道水など) ・地域により塩素除去能力およびpH値に多少の差があります。

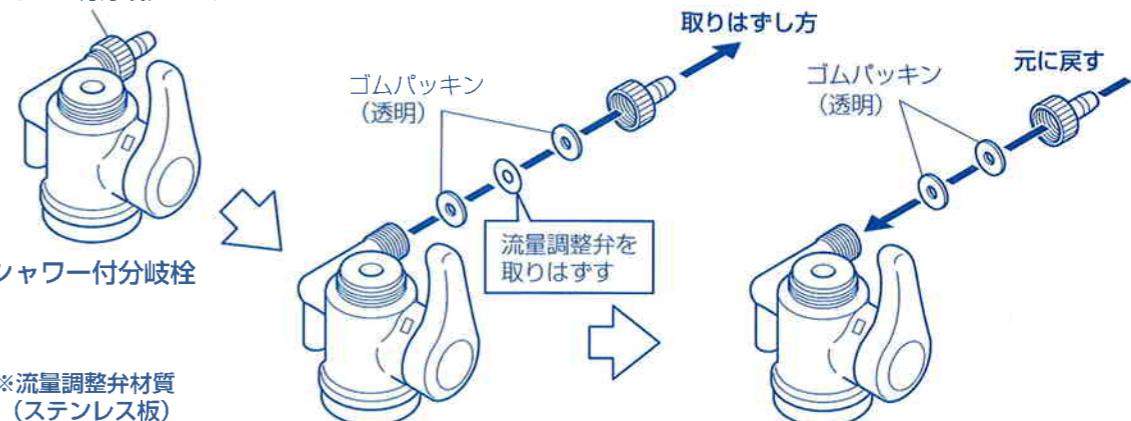

5 困った時は

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 (電源ランプが点灯しない)	●電源プラグをコンセントに入れていない。	■電源プラグをコンセントに差し込む。
アラーム音がなる。	●異常のお知らせ。	■液晶ディスプレイの指示に従う。
冬期、水が出ない。	●機器内部凍結。	■室温を上げ、解凍するまで待つ。
各種生成水の生成量が低下した。	●水量(水圧)が少ない。 ●浄水フィルターの目詰まり。 ●洗浄時期。	■さらに水道栓の蛇口を開ける。 ■浄水フィルターを交換する。 ■洗浄フィルターで洗浄する。
還元水にカルキ臭がする。	●浄水フィルターの寿命。	■浄水フィルターを交換する。
還元水に白い浮遊物・沈殿物がでる。	●電気分解により生成されたカルシウム。 ●洗浄時期。	■無害。 ■洗浄フィルターで洗浄する。
酸性水吐出のホース内側が黒く汚れる。	●水道水中の鉄分等の酸化物が付着したもの。	■無害。
強酸性水で生成される酸性水がpH2.7以下にならない。	●水量が多い。 ●電解促進液がなくなっている。	■水栓を絞る。 ■電解促進液を補充する。
生成される還元水、酸性水のpH値が低下してきた。	●電気分解槽にカルシウムが付着している。 ●洗浄時期。	■酸性ボタンを押して、約1分以上通水し、電解槽洗浄をおこなう。 ■洗浄フィルターで洗浄する。

⚠ 注意 「スイリョウフソク」の文字表示が頻繁に出る場合

- 使用水道水圧が低く、還元水、酸性水の吐出量(水量)が少なくなり、「スイリョウフソク」の表示が頻繁に出る場合には、下図を参考に、シャワー付分岐栓ノズル内にある流量調整弁を取りはずしてください。流量がアップします。

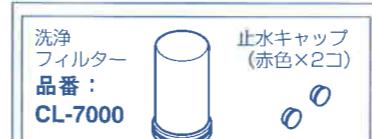
シャワー付分岐栓ノズル



⚠ 注意 ■地下水に含まれる遊離炭酸による、pH試験液反応の変化

- 使用水道水の水質が、地下水を多く含んだ水質の場合や、井戸水を水道として利用している場合、地下水に多く含まれている遊離炭酸(H_2CO_3)の量により、電解直後(1~2秒)に還元水のpH値が中性近くに戻ってしまう現象(pH試験液反応が、青色から緑色に変化)が、起こる場合があります。これは、地下水に溶け込んでいる遊離炭酸が、イオン化するために起こる現象であり、還元水のもつ特性が失なわれる現象ではなく、美味しい健康水となる事は変わりありません。
- ・テスト方法：空の透明コップにpH試験液を3~4滴入れ、そのコップ内に還元水(pH9.5)を注ぐ。
- ・反応：(注いだ直後) → 青紫～青色に発色 (1~2秒後) → 青色から緑色に変化

洗浄フィルターによる洗浄をおこなう ⚠ 注意 電源は、必ず切ってからおこなってください。

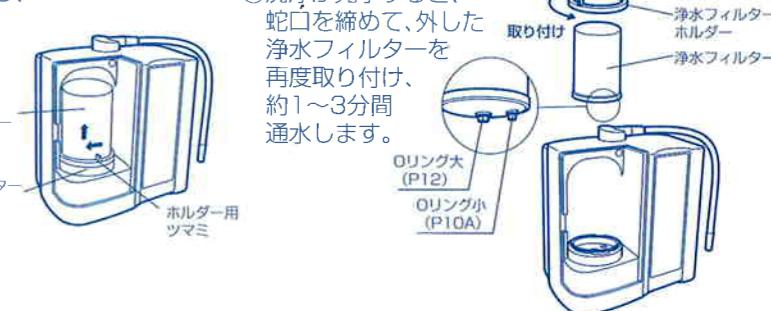


3ヶ月～6ヶ月に1回を目安

洗浄時期 ①還元水の中に白い浮遊物が混ざり始めたら
②pH試験液で測定した時、同じレベルで電解してもpHが上がりにくくなったら
③還元水が出にくくなったり、止めたときに一滴白い水が出たら

①本体の浄水フィルターカバーを外し、
浄水フィルターホルダーを回し、
浄水フィルターを取り外します。

②浄水フィルターを取り付け、
付属の止水キャップを
吐水ホース〈グレー〉の
先端にはめ込んだ後、
洗浄をおこないます。



※詳しくは、「洗浄フィルターによる洗浄方法」の説明書をご参照ください。

6 オプションについて

●オプション(別売)



7 標準仕様

品番	LeveLuk SJ ⁵⁰¹ · TYH-401	LeveLuk DXII · TYH-302	LeveLuk JrII · TYH-201	
給水仕様・接続	シャワー付分岐栓による原水・シャワー・浄水の3段階切替え			
電源	100V 50/60Hz			
定格電流	3.2A			
消費電力	約230W (還元水pH濃度強生成時) 約200W (還元水pH濃度強生成時) 約120W (還元水pH濃度強生成時)			
本体	寸法	高さ338×幅264×奥行171 (mm)		
	重量	6.3kg		
電解方式	連続式電解方式 (流量センサー内蔵)			
電解	処理水量	還元水:4.5 l~7.5 l/分 (水道圧: 0.2MPa) 強酸性水:0.6 l~1.2 l/分 (水道圧: 0.1MPa)	還元水:4.0 l~7.0 l/分 (水道圧: 0.2MPa) 強酸性水:0.5 l~1.0 l/分 (水道圧: 0.08MPa)	還元水:3.0 l~5.0 l/分 (水道圧: 0.2MPa) 強酸性水:0.3 l~0.7 l/分 (水道圧: 0.06MPa)
	生成水切り替え	7段階	還元水/3段階 (約pH8.0~pH9.5) 淨水 (中性pH7.0) 酸性水 (約pH5.5~6.5) 強酸性水 (約pH2.3~2.7) 強還元水 (約pH10.0~)	
連続使用可能時間	常温時 還元水 約60分間／強酸性水 約30分間			
電解槽洗浄方式	自動洗浄方式 (洗浄時期をマイコンで制御)			
電解槽電極材質	チタン白金メッキ			
浄水フィルター	ろ過材	粒状抗菌活性炭+亜硫酸カルシウム+鉛除去活性炭		
	ろ過能力	遊離残留塩素	総ろ過水量12,000 l以上(除去率80% JIS S3201試験)	
	初期塩素除去	95%以上		
除去できない成分	原水中に溶けている金属イオン・塩分			
寿命	約1年間、または12,000 l通水で交換表示 (水質により異なります。)			
使用可能水圧	0.05MPa~0.45MPa (約0.5Kgf/cm ² ~4.5Kgf/cm ²)			
連続使用最高水温	35°C			
電解促進液(強酸性水生成時)	添加ポンプによる溶液添加方式			
電解促進液補充サイン	音声ガイダンス・アラーム音・液晶ディスプレイによるお知らせ (LeveLuk JrIIは、音声ガイダンス(案内)除く)			
保護装置	電流ヒューズ6A			
検知装置	温度上昇検知・熱水検知			

- 商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 電解処理能力及び浄水フィルターの寿命は水質や使用状況により大幅に変わることがあります。